



小牧市協働提案事業

11

住み続けられる
まちづくりを



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



講考桃
演え花
会る台
episode
08
を

テーマ

空き家にしないための
「住まいの終活」とは
～今から考える住まいとまちの未来～

講師

野澤 千絵 氏 明治大学経済学部教授
(空き家問題、課題と対策)

2026

とき

1月18日



開場 13時 / 開演 14時

ところ

東部市民センター 講堂
小牧市篠岡二丁目23番地

定員

300名

参加費

無料



講演翌日から
動画配信を行います。
QRコードよりご視聴ください。

主催：桃花台を考える会、小牧市

協賛：あおい交通(株)、旭産業(株)、

新井内科クリニック、(株)三喜工務店、(株)マスターズ、(株)名菱運輸

講師紹介



野澤 千絵氏 明治大学経済学部教授

【経歴】

明治大学政治経済学部教授。博士（工学）。専門は都市政策・住宅政策。

大阪大学大学院修了後、民間企業を経て、東京大学大学院都市工学専攻博士課程修了。

東大、東洋大を経て2020年から現職。日本都市計画協会理事。

国土交通省社会資本整備審議会の住宅宅地分科会や都市計画基本問題小委員会、交通政策審議会委員のほか、大田区空家等対策協議会会長など多くの都県・市区町村の都市政策・住宅政策に携わる。

主な著書は、『2030-2040 日本の土地と住宅』（中公新書ラクレ）、『老いた家 衰えぬ街一住まいを終活する』（講談社現代新書）、『老いる家 崩れる街一住宅過剰社会の末路』（講談社現代新書）など。

東部振興構想って何？

東部地域は、市内の他地域に比べ、人口減少、少子高齢化が急速に進行しており、今たくさんの課題を抱えています。そんな課題を希望に変えるための指針として「東部振興構想」は策定されました。

また、今後の東部地域のまちづくりは、地域住民をはじめ、企業・事業者、行政など関係する人たちが連携・協力してまちづくりを進めることが大切です。

東部地域に関係する人たちが共通認識をもって、夢や希望に向かってまちづくりを進めるための役割も、この「東部振興構想」は担っています。

「桃花台を考える会」イベント情報

「第10回桃花台音楽まつり」

日時：2026年3月8日(日)

場所：東部市民センター講堂

演奏：SWEET CATS JAZZ ORCHESTRA

「第11回桃花台音楽まつり」

日時：2026年11月中旬

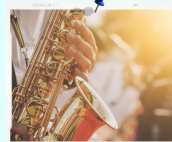
場所：東部市民センター講堂

講師：中部フィル弦楽四重奏による名曲SP

桃花台PRイベント計画します

企画から実行支援をしていただける団体、個人の方を大募集しています

ご一緒に力を合わせて桃花台の活力を守りましょう！



「桃花台を考える会」の課題と将来性について

「桃花台を考える会」が発足して15年が経過しようとしています。

主な活動は①講演会活動②音楽会活動③空き家・相続相談です。

ちょっとしたサプライズがありました。先月8月の定例会に二人の若者が傍聴を兼ねて参加されました。

地元中学出身の高校生と若者です。当会の活動に関心があり参加したとのことでした。

さて、当会の課題は、次世代への継承です。時代の変化とともに若い世代に魅力ある情報発信を継続しなければなりません。この地域の課題はそれぞれ多岐にわたります。私たちは、当事者意識を持ってより良い街づくりに微力ながら貢献したいと思っています。

桃花台を考える会
代表 玉井 宰（おさむ）